

広報たかなべ

2012.11.16 NO. 379



- ・第12回 高鍋城灯籠まつり
- ・平成23年度 高鍋町の決算状況を報告します
- ・財政健全化法に基づく高鍋町の「健全化判断比率等」について公表します
- ・宝くじの助成金で整備されました
- ・出前講座について
- ・事務事業評価・外部評価を行いました
- ・縁ある場所
- ・「町民の日」記念式典・高鍋町社会福祉大会
- ・高鍋町景観絵画コンクール・景観写真コンテスト受賞者決定！
- ・まちの話題
- ・わが町の宝物
- ・行政相談委員をご存じですか？

第12回 高鍋城灯籠まつり会場（舞鶴公園）

高鍋城灯籠まつりは、準備から片付けまで多くのボランティアの皆さんに支えられて開催されています。



まつりのあとは…

のぼり旗を立てる

竹を切る

掃除をする

灯籠を作る

ロウソクを入れる

コップを洗う

お疲れ様でした！

灯籠を片付ける

宮銀前ゾーン

まちなか大物産展では多くの出店が並び、大盛況でした。その会場の外には、歴史パネル展示「高鍋再発見」があり、高鍋藩政時代の城下町の図や、大行列の図が描かれており、多くの人が足を止めて見入っていました。



中田ゾーン



姉妹都市からの出店、こども広場や航空自衛隊新田原基地の展示などのほかステージイベントがあり、多くの来場者でぎわいました。
また、1日目はいも煮のふるまい、2日目は豚肉のふるまいもありました。

称専寺ゾーン

称専寺ゾーン

武道演舞やひょっこりが披露されたあと、日が落ちて暗くなってきた会場には楽器やエイサーの太鼓の音が鳴り響きました。各会場をボニーの頑太（がんた）君も往復しました。



文化交流会

姉妹都市をはじめ、各種団体等の皆さんを迎えて盛大な文化交流会が行われました。



交流会の食事は、ボランティアの皆さんにより作られました。素敵なお品書きも添えられ、風情を感じるものとなりました。



第12回 高鍋城灯籠まつり

～高鍋藩の名君である秋月種茂公の教え（人の倫）を育む心に明かりを灯し、受け継ぎ伝えていく～

10月6日、7日の2日間にわたり、第12回高鍋城灯籠まつりが行われました。

今年は、これまでの会場であった舞鶴公園周辺から、高鍋町商店街まで開催場所を広げ、約6万人の人出ででぎわいました。

まつりには、口蹄疫からの復興祈念と犠牲となった家畜への鎮魂、さらに東日本大震災からの復興祈念という思いも込められています。その思いを胸に、舞鶴公園で創作灯籠や紙灯籠の織りなす幻想的な雰囲気を感じながら、お堀や道路を照らすほのかな灯りをもとに導かれていくと、商店街では一軒、物産展やステージイベントが行われ、心躍る空間が広がっていました。

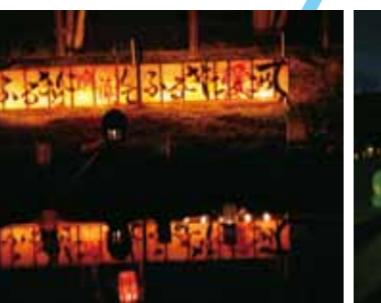


美術館



農高グラウンド

○高鍋農業高校



舞鶴公園



高鍋町の決算状況を報告します

町民の皆さんのが納めた税金や、国・県からの交付金などは、どのような形で、どのような目的に使われているのか…。町の財政状況を広く知らせるために、毎年、決算を公表しています。



「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」により、地方公共団体は、毎年度四つの健全化判断比率（実質赤字比率・連結実質赤字比率・実質公債費比率・将来負担比率）および資金不足比率を算定し、議会への報告、公表することが義務づけられています。

これらの指標が悪化し、早く回ると、財政的に危険な水準にあると判断され、議会の議決を経て財政の健全化もしくは再生のための計画等を策定し、外部監査を求めるなど、これが義務づけられています。

財政健全化法に基づく高鍋町の

「健全化判断比率等」について公表します

■高鍋町の算定結果は？

平成23年度決算に基づき、算定した健全化判断比率および資金不足比率は、いずれの指標も早期健全化基準、経営健全化基準を下回る結果となりました。地方交付税の増額や、地方債償還額の減少もあり、比率は改善傾向にあります。

1. 健全化判断比率

指 標	比 率(22年度)	比 率(23年度)	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—	—	15.0%	20.0%
連結実質赤字比率	—	—	20.0%	40.0%
実質公債費比率	17.2%	14.6%	25.0%	35.0%
将来負担比率	81.3%	53.4%	350.0%	

※実質赤字額、連結実質赤字額がないため「-（該当なし）」で表示しています。

2. 公営企業の資金不足比率

公営企業会計の名称	比率	経営健全化基準
水道事業特別会計	—	20.0%
下水道事業特別会計	—	

※いずれの会計も資金不足がないため「-（該当なし）」で表示しています。

宝くじの助成金で整備されました



整備された備品の一部

会議用テーブル・折りたたみ椅子
子・プラズマテレビ・プロジェクタ
クター一式・ノートパソコン一
式・カラオケシステム・フリー
ボード・ホワイトボード・囲碁
セット・将棋セットなど



コミュニティ助成事業は、コミュニティの健全な発展を図るため、財団法人自治総合センターが宝くじの収入を財源として行っています。

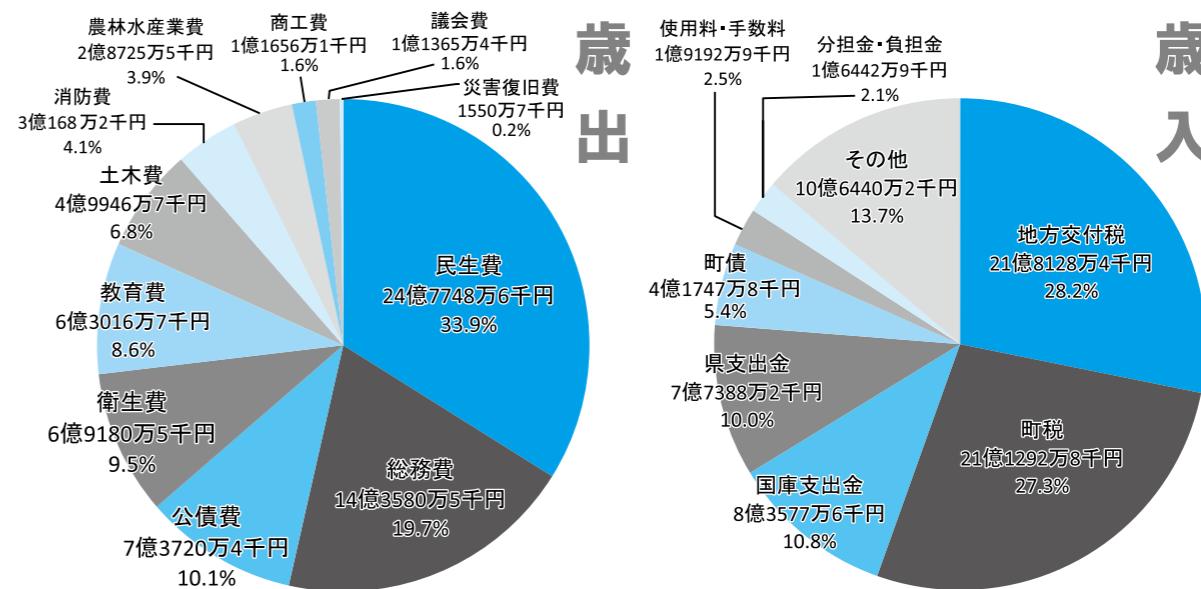
高鍋町では、平成24年度に次の備品が整備され、地域コミュニティ活動に活用されています。

平成23年度一般会計の決算額は、歳入総額77億4,210万8千円、歳出総額73億659万3千円となりました。

歳入面では、地方交付税が約6,800万円の増、繰越金が約1億5,400万円の増となったものの、国庫支出金が、きめ細かな交付金約5,800万円、地域活力基盤創造交付金約3,100万円など約5,400万円の減となり、諸収入は、(財)日本宝くじ協会助成金4,200万円や平成22年度に多かった口蹄疫関連の収入が減少して約1億1,800万円の減、さらに臨時財政対策債が約1億1,800万円の減となったため、歳入全体では6,962万3千円の減額となりました。

歳出面では、民生費は、近年の扶助費の増額傾向に伴い約1億1,300万円の増となり、歳出の3分の1以上を占めることとなりました。総務費は、基金積立金が約2億5,000万円増となった影響で約6,900万円の増となりました。一方、口蹄疫被害の翌年となったことから農林水産業費が約8,200万円の減、公債費については平成20年度のピーク時から減少を続け、約1億4,900万円の減となり、歳出全体では1,530万2千円の増となりました。

実質収支は昨年度より減少したものの4億2,184万8千円と多額に見えますが、税収は右肩上がりが続いており、国が多額の国債を発行している現状から考えると、ここ最近の法案不成立による地方交付税の支払延期だけではなく、より多くの影響が予想され予断を許さない状況にあります。そのため、これからも徹底した歳入の確保・歳出の抑制を図り、高鍋町民が一体となって効率的・効果的なまちづくりに取り組んでいく必要があります。



◎ 公信费

◎水道事業

一般会計地方債残高
(平成23年度末現在) 67億4,720万1千円

◎特別会計

区分	歳入	歳出
国民健康保険	29億8,317万3千円	27億6,620万7千円
後期高齢者医療	4億1,503万7千円	4億1,442万4千円
下水道事業	3億7,919万9千円	3億7,870万5千円
介護認定審査会	1,142万7千円	995万8千円
介護保険	14億5,435万4千円	14億204万2千円
高鍋都市計画畠田土地区画整理事業清算金	476万7千円	476万7千円
一ツ瀬川雜用水管理事業	1,642万2千円	1,442万3千円

高鍋町出前講座メニュー表

分類	No	講座名	内容	分類	No	講座名	内容
町政	1	ともに考えよう！「21世紀の高鍋町の姿」	総合計画の概要を説明し、高鍋町の将来像をお話します。	生活環境	20	知って安心！消費生活講座	悪質商法の手口と対処法等についてお話しします。
	2	「広報したかなべ」ができるまで	身近な情報紙はこのように作られます。		21	犬の登録と狂犬病予防について	犬の正しい飼い方についてお話しします。
	3	統計でみる高鍋町！	各種統計調査の数値からみた高鍋町の姿！		22	ごみの減量とりサイクル	高鍋町が実施しているごみの出し方を再確認し、地域での資源回収への協力、ごみ減量とりサイクルの必要性をお話しします。
	4	情報公開ってなに？	情報公開条例、個人情報保護条例の内容および町民の利用方法についてお話しします。		23	おいしい水ができるまで	安全で安心なおいしい水が家庭に届けるまでをお話しします。
	5	高鍋町の家計簿	高鍋町の財政状況を知っていただき、町税に対する理解を深めていただきます。		24	下水道のある生活	生活を通しての、下水道の役割・しくみと働きをお話しします。
	6	高鍋町の行財政改革	高鍋町の行財政改革の取組内容・経過等についてお話しします。		25	知っておこう 高齢者福祉サービス	介護保険サービス以外の、高齢者向けサービスの内容をお話しします。
	7	私たちの暮らしと町税	税についての理解と知識を深めていただくために町税全般のお話をします。		26	知っておきたい 介護保険制度	介護保険制度のしくみや保険料、サービスの内容、申請から認定・サービスの利用までをお話しします。
	8	知つ得！なっ得！固定資産税のしくみ	固定資産税制度のあらましと課税のしくみについてお話しします。		27	障がい者福祉サービスあれこれ	高鍋町が行っている障がい者福祉関係支援制度の内容および申請の仕方についてお話しします。
	9	町税等の納付方法について	町税の納付方法、納税相談についてお話しします。		28	いつまでも元気でいよう～高齢者のための介護予防～	介護予防事業と地域包括支援センター事業を紹介しながら、介護が必要にならないための予防についてお話しします。
	10	おもしろ雑学ザ・選挙	選挙の仕組みを学習し、選挙が身近なものであることを理解していただきます。		29	高鍋町の子育て支援	高鍋町の子育てに関する経済的な支援から保育や子育て相談等、町の現状をお話しします。
人権	11	町議会の仕組みを知ろう	議会の傍聴方法、請願等の提出方法、定例会・臨時会の開催についてお話しします。		30	いのちと健康を守る国民皆保険制度	国民健康保険・後期高齢者医療制度のしくみ、給付、保険料（料）についての概要をお話しします。
	12	今なぜ男女共同参画なのか？	性別にとらわれることなく自分らしく生きるために、これから男女の生き方を探ります。		31	こころとからだの健康づくりについて	子どもから大人まで「健康づくり」についてお話しします。
	13	『人権』ってなんだろう？	一人ひとりが尊重される社会に向けて『人権』について勉強します。		32	楽しくおいしく健康的食事をしましょう	子どもから大人まで「食」について分かりやすくお話しします。
防災・安全	14	交通安全教室	交通事故のない町を目指して！警察官や交通指導員による交通安全教室	まちづくり	33	農地制度について	農地の貸借・売買・転用するための手続き等についてお話しします。
	15	防犯のまちづくり	防犯対策についてお話しします。		34	高鍋町の都市計画のお話	都市計画の仕組みや高鍋町の都市計画の状況をお話しします。
	16	我が家の防災対策	自然災害の基礎的な知識と身近にできる対策についてお話しします。		35	進んでいます！東九州自動車道	東九州自動車道の計画についてお話しします。
	17	国民保護計画ってなに？	高鍋町国民保護計画についてお話しします。	教育文化	36	生涯学習のススメ	「生涯学習って何？」町の生涯学習事業についてお話しします。
観光	18	高鍋町の観光スポット	魅力ある高鍋町の観光資源をご紹介します。		37	文教の町！高鍋の教育	高鍋町が推進している教育についてお話しします。
	19	高鍋町の農業	高鍋町の農業の現状と課題についてお話しします。		38	文化財からみる高鍋町の歴史	高鍋町内の指定文化財の紹介に合わせ高鍋町の歴史についてお話しします。
産業	20	アートがあっと！美術に親しもう！	高鍋町美術館で開催中、又は開催予定の展示会についてご紹介します。		39		

出前講座の申込方法

○申し込みができる人

町内に在住、在勤、在学する10人以上で構成された団体およびグループ（ただし、政治、宗教、営利活動を行っている場所には、講師を派遣することはできません）

受講したい日の30日前までに、所定の申込用紙を記入し、政策推進課へ申し込む

出前講座開催

公民館、集会所など 町内の公共施設

○講師派遣時間帶

午前9時から午後9時までの間の2時間以内とします。講座によっては、30分から60分程度のものもあります。ただし、年末年始は除きます。

○講座の会場

原則として、町内の公共施設でお願いします。(集会所等にも派遣可能ですが)ただし、会場の手配や準備等は申込者にてお願いします。

◎ 講師料

講師料は無料ですが、講座に必要な材料費等は申込者負担となります。

申し込み・問い合わせ先

高鍋町役場 政策推進課 情報政策係 ☎ 26-2003 FAX 23-6303

「知る 考える つながる」

ことのお手伝いをします

出版講座について



「高鍋町はどんな町なのだろうか?」「役場はどんな仕事をしているのだろうか?」「高鍋町のまちづくりに興味がある」「毎日の暮らしの中で、もっと知りたいことがある」。そんな皆さんのが「聞きたい」といって、主に町職員が講師となり、町民の皆さんのお近くに出向いて、お話をするのが出前講座です。

現在は、三十九の講座があり（左ページのメニュー表）、内容は、町政・防災・保健福祉・まちづくりなどさまざまなものがあります。その中でも、心と体の健康づくり、介護や防災などをテーマにして講座のほか、健康を考えた食事の実習を交えた講座は特に人気があり、多くの皆さんが活用しています。

利用者の多くは、公民館活動による出前講座への参加が最も多く、調理実習を交えた講座は、児童クラブなどの子どもたちも受講しています。受講した皆さんからは、「現状を見つめ直す機会になつた」「関心がより深まつた」「今後の生活に活かしていきたい」など、意識の向上が図られたという感想が多く聞かれます。また、制度の説明を聞いた受講者からは「今まで知らな

職場、高齢者クラブやママさんサークルなど、多くの団体・グループの皆さんに活用してほしいですね。手続きに必要な申込用紙は、政策推進課に準備しているほか、高鍋町ホームページ (<http://www.town.takanabe.miayazaki.jp/>)



政策推進課 情報政策係
橋本由香主任主事

かつた情報を得ることができて、今後の生活に安心感を持った」という感想もありました。

知りたいと思ったことを学習したり、生活をより良くするための知識を得ることは、充実感を味わうことができます。さらに、「楽しめた」という言葉もあり、団体やグループで参加することで、地域の仲間づくりや絆づくりにも役立っていることが分かります。

周囲とつながりながら、自らが楽しみ、知識を習得していく手段として、出前講座を活用してみませんか。



例えば…
このように活用している
グレーフがあります！

原地区の「ふれあいの会」の皆さん、楽しくおいしく健康的食事をし、つ」の出前講座を、東平原公民館で十代の方で構成されたグループでした。

「ふれあいの会」は、地域高齢者の生活支援として、東平原地区の五十代後半に一度、公民館に集まり、ゲーム、や体操などを楽しみ、全員で昼食をす。作った料理は、「公民館に来る」しかない、「一人暮らしのお年寄りのお宅にも届けられます。この活動を十年以上も続けている」ということです。役員の一人は「毎回、自分たちで献立を決めていますが、出前講座を利用して料理教室を開催する」ともあります。専門の職員が考える献立は新鮮で、参考になります」と話しました。

年配の皆さんも具材を切ったり盛りつけをするなど、和気あいあいとした雰囲気の中で調理し、素晴らしい連携プレーで料理を仕上げていました。昼食をとり、お腹を満たしたあとは、町職員の講話を聞きました。

「ふれあいの会」では、七月に別のメニューの出前講座も利用しています。受講するテーマは、その時期によって決めるということです。

公民館の中は、笑顔であふれており、メンバーの皆さんには自らが楽しみ、この活動に誇りを持っていました。受講するテ

事務事業評価・外部評価を行いました

行政活動は「政策」「施策」「事務事業」と階層化されており、施策を実現するために行う実際の仕事が事務事業です。行用を目的として、事務事業評価を行います。また、事務事業評価の結果について、評価の客観性・公平性・信頼性を高めるために、第三者評価機関として外部評価委員会を設置し、評価を行います。

◆ 事務事業評価 ◆

8月2・3日の2日間にわたり、事務事業評価委員会を開催し、平成23年度に実施した事務事業のうち55事業についてヒアリングを行いました。

ヒアリングの結果、今後の方針性の評価判定を「拡充」とした事業が2事業、「縮小」とした事業が1事業、「維持」とした事業が52事業となりました。そのうち、「拡充」と「縮小」と判定された事業は次のとおりです。

担当課	事業名	評価判定
産業振興課	松くい虫薬剤樹幹注入事業委託	拡充
	企業誘致業務	
政策推進課	高鍋町持田地域まちづくり協議会	縮小

◆ 外部評価 ◆

8月24日から9月4日の間に委員会を4回開催し、平成23年度に実施した事務事業のうち10事業についてヒアリングを行いました。

今年度の委員会は、2人の有識者と8人の公募委員（町民の方）で構成されています。

ヒアリングの結果は、次のとおりです。

担当課	事業名	評価判定（人）			
		拡充	維持	縮小	廃止
社会教育課	高鍋町スポーツ・レクリエーション祭	3	5	1	0
	企画展事業	4	5	0	0
農業委員会	農業委員県外研修事業	0	6	3	0
	町内巡回バス運行事業	1	7	1	0
政策推進課	「ふるさと納税制度」促進事業	7	1	0	0
	町民生活課	一般廃棄物収集運搬業務委託	3	5	0
教育総務課	適応指導教室	5	2	0	1
総務課	行政事務連絡員制度運営事業	0	5	2	3
健康福祉課	プール運営事業	1	8	0	0
	緊急通報システム事業	7	2	0	0

*9事業において、10人に満たないものは委員の欠席によるものです。

10月24日に役場応接室において、外部評価の結果がまとめられた答申書が、高鍋町外部評価委員の柚原委員長から小澤町長に手渡されました。今後、事務事業評価および外部評価の評価判定結果をもとに平成25年度予算を編成します。

柚原委員長は「公募委員が昨年度の3人から8人に増えたことで、町民目線の活発な意見が出されて、議論がより深まった。説明を行う職員は、真摯に説明しようとする姿勢が見られて良かった。外部評価委員会が始まって4年目となるが、審議等の改善も図られており、一定の評価ができる委員会になったのではないか。今後の委員会においては、町民サービスの不満足に関して、問題点を整理して議論を行う必要があると感じた。また、外部評価を行う事業の選択理由の説明や1日あたりに評価する事業数の再考など、今後に向けての改善点もあった」と話しました。



外部評価委員長の柚原知明宮崎産業経営大学教授から答申を受け取る小澤町長。この日の答申には、5名の委員も参加した

◆事務事業評価・外部評価については、政策推進課財政経営係（☎ 26-2018）までお問い合わせください。

縁ある場所

~新潟に眠る高鍋藩士が物語る

米沢と新潟と高鍋の縁~

◇ 米沢と高鍋の縁 ◇

江戸時代、高鍋藩第七代藩主・秋月種茂公の実弟・治憲公（上杉鷹山として知られる）は、八歳の時に母方の遠縁にある米沢藩上杉家の養子になりました。種茂公は高鍋の地で、鷹山公は米沢の地で、庶民のための善政に尽力しました。その後、米沢市と高鍋町は、米沢市産業まつり・上杉雪灯籠まつり・米沢まつり・上杉雪灯籠まつりなどで積極的に交流を深めています。また、小学生・商工会議所・信用金庫等の間でも協定を締結しました。現在、米沢市と高鍋町は、米沢上杉まつり・上杉雪灯籠まつりなどで積極的に交流があります。十月二十四日から二十六日には、米沢興譲館高等学校の生徒会のメンバーが高校生は温かく迎えて、一緒に盛り上げました。

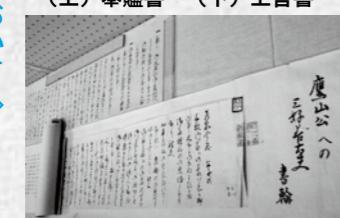
◇ 動乱の時代において ◇

このように親戚となつた米沢藩と高鍋藩でしたが、明治維新において不幸にも争うことになりました。「旧幕府勢力および奥羽越列藩同盟」と「明治政府を樹立した薩摩・長州を中心とした新政府軍」が戦つた戊辰戦争。その局面の一つである北越督として新潟の警護にあたりました。この戦争で、奥羽越列藩同盟の中心であつた米沢藩は、家老の色部長門（いろべながと）を総督として新潟の警護にあたりました。

篠田 昭 新潟市長（左）
小澤 浩一 高鍋町長（中）
安部三十郎 米沢市長（右）



高鍋町歴史総合資料館に展示されている2通の訓言（写し）
(上) 奉贍書 (下) 上言書



◇ 新潟の地にて ◇

この命日に行われている「色部長門君追念碑前祭」への出席に併せて、米沢、新潟、高鍋の三市町長は、護国神社戊辰靈園を訪問し、高鍋藩士の慰靈も行いました。



幕府学問所奉行に登用される。徳川家茂、明治天皇の書物の講義役を務める。大学大監を命じられ、近代的な教育制度を作りあげた



時代の大きな転換期の中で、図らずも争うことになつた米沢と高鍋ですが、深い縁を大切に今も交流を続けています。また、故郷から遠く離れた地で眠る高鍋藩士を、現代まで丁寧に祭つてくださっている新潟という地にも感慨深い思いがこみあが、温かな縁を感じます。

わが町の宝物

このコーナーは、9・10ヶ月児健診に来たお子さんを紹介しています。

今回は、9月・10月の健診に来た元気なちびっこたちです！

みんな元気に育ってね。



くろぎ るみ
黒木 瑞未 ちゃん



ささば ゆりな
笹葉 由理奈 ちゃん



くろぎ はるね
黒木 晴心 ちゃん



はら みおり
原 瑞織 ちゃん



てらはら りこ
寺原 凜子 ちゃん



はら そうすけ
原 蒼介 ちゃん



たけすえ いっけい
武末 一慶 ちゃん



ひだか はると
日高 大翔 ちゃん



木下 美咲 ちゃん



おだ あいる
小田 愛琉 ちゃん



むらい じんや
村井 仁哉 ちゃん



すぎお かの
杉尾 華乃 ちゃん



かわごえ だかつな
川越 威綱 ちゃん



やまぐち じん
山口 仁 ちゃん



くろぎ に か
黒木 仁翔 ちゃん



せとぐち やまと
瀬戸口 大翔 ちゃん



ながまつ ゆ な
永松 優菜 ちゃん



はらだ このみ
原田 心望 ちゃん



はらだ ときはる
原田 恵明 ちゃん



わたなべ も ね
渡部 萌希 ちゃん



おおにし わ と
大西 和斗 ちゃん



こでら ゆ な
小寺 佑奈 ちゃん



ながとも そ うま
永友 蒼馬 ちゃん



かい りあ
甲斐 梨愛 ちゃん

町民と行政とのパイプ役 行政相談委員をご存じですか？

国から委嘱され、行政サービスに関する苦情、行政の仕組みや手続きに関する問い合わせなどの相談を受け付け、その解決のための助言や関係行政機関に対する通知などを行うのが行政相談委員です。



その行政相談委員を16年間務めている小澤 浩さん(町内南町)が、総務大臣表彰を受けました。小澤さんは「相談者の意向によっては自宅を訪問して話を聞いたり、必要であれば相談者と一緒に行政機関に出向いたり、事前に電話をかけて取り次ぐこともあります。相談者の立場に立って話に耳を傾けるように努め、問題が解決して相談者に喜んでもらえた時がうれしいです」と話してくれました。

行政相談委員による行政相談は毎月、高鍋町福祉センターで行われています。

詳しくは総務課行政係(☎26-2001)にお問い合わせください。

広報たかなべ 2012.11.16 NO.379

編集・発行／宮崎県高鍋町

〒884-8655 宮崎県児湯郡高鍋町大字上江8437

政策推進課／☎0983-26-2003

<http://www.town.takanabe.miyazaki.jp>

※「広報たかなべ」は町ホームページでもご覧になれます。



人口と世帯数(11月1日現在・前月比)		
人 口／	21,657人	(+13)
男 性／	10,252人	(+ 5)
女 性／	11,405人	(+ 8)
世帯数／	8,800世帯	(+10)

高鍋町美術館特別展 片岡鶴太郎展

精靈



俳優・タレント業と並び、“芸術家”として幅広く活躍中の片岡鶴太郎氏が描き出す素朴な絵と書は多くの人の魅了しています。今回は絵画、陶芸や染色など多くの作品を展示しております。

10月27日にオープニングセレモニーが行われ、絶賛開催中です。
お見逃しなく！

▲会期 11月25日(日)まで

△詳しくは、高鍋町美術館(TEL: 23-8887)へ

TAKANABE TOWN